



2024年5月15日

各位

会社名 株式会社フリークアウト・ホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 Global CEO 本田 謙  
(コード番号：6094 東証グロース)  
問合せ先 取締役 C F O 永井 秀輔  
(TEL. 03-6721-1740)

## 関係会社株式評価損による特別損失の計上、及び 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2024年9月期第2四半期（2024年1月1日～2024年3月31日）において、下記の通り関係会社株式評価損及びのれん償却額の計上を行いましたので、お知らせいたします。併せて、2024年9月期通期の業績予想について、下記の通り修正しましたので、お知らせいたします。

記

### 1. 特別損失の計上

#### (1) 2024年9月期第2四半期における関係会社株式評価損の計上（個別決算）

当社の連結子会社であるUUUM株式会社（コード：3990）については、2024年4月12日付同社の2024年9月期第3四半期（2023年12月～2024年2月）決算発表の通り、人的資源の最適化などによる構造改革が順調に進捗したほか、グッズP2C事業を含めた各事業が順調に推移し、四半期及び累計でも営業利益ベースでの黒字化を達成しております。また、2023年8月10日付の当社「UUUM株式会社（証券コード：3990）に対する公開買付けの開始及び資本業務提携契約の締結に関するお知らせ」に記載の業務提携の各内容についても、当社からの役員及び執行役員の派遣と中期の戦略策定を行うなど順調に検討が進んでおり、中長期における同社の事業成長及び当社との事業シナジーについては、公開買付けを決議した当初と同様の見立てを持っております。

一方で、当社が保有する同社の株式の市場価格が取得価額と比べて著しく下落したため、2024年9月期第2四半期の個別決算において3,519百万円の関係会社株式評価損を計上いたしました。

なお、関係会社株式評価損については連結消去され、以下（2）に記載する特別損失が連結業績への影響額となります。

#### (2) 2024年9月期第2四半期におけるのれん償却額の計上（連結決算）

上記の通り、UUUM株式会社（コード：3990）について、個別決算において当該株式の減損処理を計上したため、連結決算において、「連結財務諸表における資本連結手続きに関する実務指針」の規定に基づき、2024年9月期第2四半期の連結決算において、のれん償却額3,212百万円を特別損失として計上いたしました。

### 2. 2024年9月期 通期業績予想の修正

(1) 2024年9月期 通期連結業績予想の修正

(2023年10月1日～2024年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	EBITDA	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり当 期純利益
前回発表予想(A)	百万円 51,000	百万円 200	百万円 —	百万円 2,000	百万円 —	円 銭 —
今回の修正予想(B)	51,000	300	900	2,000	△2,800	△156.62
増減額(B-A)	0	100	—	0	—	—
増減率(%)	0	50%	—	0	—	—
(参考)前期実績 (2023年9月期)	30,604	1,610	2,338	3,452	7,870	440.22

※経常利益は前期と比べて△1,438百万円、△61.5%、親会社株主に帰属する当期純利益は前期と比べて△10,670百万円

(2) 2024年9月期 個別業績予想の修正

(2023年10月1日～2024年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当 期純利益
前回発表予想(A)	百万円 1,500	百万円 160	百万円 120	百万円 90	円 銭 5.03
今回の修正予想(B)	1,500	160	120	△3,500	△195.77
増減額(B-A)	0	0	0	△3,590	△200.80
増減率(%)	0	0	0	—	—
(参考)前期実績 (2023年9月期)	3,109	1,500	1,360	8,926	499.28

(3) 差異及び修正理由

<連結>

営業利益については、1特別損失の計上(2)2024年9月期第2四半期におけるのれん償却額の計上(連結決算)の通り、特別損失としてののれん償却額3,212百万円を計上した結果、2024年9月期ののれん償却費は約1億円減少し、営業利益は従来予想に比べて1億円増加し、3億円となる見込みです。

また、今回修正しましたのれん償却費は売上高及EBITDAには影響を及ぼさないため、通期連結業績の売上高及びEBITDAの予想値は据え置きとしました。

一方で、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益については従来非開示としていましたが、現在の為替水準が継続した場合、経常利益は9億円、親会社株主に帰属する当期純利益については△28億円の純損失となる見込みです。

<個別>

当期純利益については、1 特別損失の計上（1）2024年9月期第2四半期における関係会社株式評価損の計上（個別決算）の通り、関係会社株式評価損3,519百万円を計上したため、当期純利益は予想を下回り△3,500百万円となる見込みです。

（注）上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は今後発生する様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上